

よこはま 市商連

140号 2006年(平成18年)8月号

発行 社団法人横浜市商店街総連合会
発行人 岡野誠一
〒231-0031 神奈川県横浜市中区万代町1-1
横浜市教育文化センター11階
TEL. 045-662-0874 FAX. 045-662-5888
eメール shoren@iris.or.jp
制作 有限会社商店街情報センター

市商連HP <http://www.yokohama-syoutengai.com/>

たかが地図、されど地図 地域・商店街を見直す好機 タウンマップをつくろう

商店街にとってタウンマップは標準装備品ともいえる。

どこにどんな商品・サービスを提供する店があるのか、という情報を基本に、駐車・駐輪、休憩やトイレ、交流、医療施設等々生活に欠かせない施設などの場所を知らせる地図。当然、掲載される商店等にとってメリットはあり、商店会への帰属意識向上の有力な道具となりうるものだ。地図の作成や更新作業の過程で新たな会員の増加や地域の見直しにつながり成果をあげた会もある。

タウンマップづくりの事例と活用法・切り口などを報告する。

なぜ医療機関を中心とした地図を制作したのか。地図制作若手メンバーの一人、中西英一さん(35歳)によると、「商店街やその周辺にはこの数年、各種の医療機関が増え、それらを利用する人

若い人にも好評。鶴見銀座商店街協組では、今年3月に「便利保存版・医療機関マップ」というユニークな地図を制作した。A3判(2つ折り)で両面印刷。表面は2色刷りで、右側が表紙(タイトルとスタンプ事業の簡単な説明)、左側がスタンプ加盟店一覧。裏面は多色刷りで全体が地図となっている。

若い人にも好評。鶴見銀座商店街協組では、今年3月に「便利保存版・医療機関マップ」というユニークな地図を制作した。

事例1

医療機関マップを作成
商店街スタンプもアピール
鶴見区・鶴見銀座商店街協組



医療機関はグリーン、スタンプ加盟店はピンクなどと色分け、好評という医療機関マップ(裏面、上部分)

本号の
主な
記事

1~3=地域・商店街を見直す好機。タウンマップをつくろう 4=[FROM市商連]新三役を選出/今年度の各区商連会長/研修のお知らせ (1)秋期定例講座(2)他都市先進商店街視察/共通商品券9月末発行停止のお知らせ/市商連、(株)ライフとの提携カード発行 5=[FROM市役所]商店街実態調査について/事業所・企業統計調査実施のお知らせ 6=[クローズアップ商店街]中区・日ノ出町駅前商店会 役員

が商店街をよく通る。商店街の店だけでなく医療機関の場所がわかる地図をつくれば、多くの人に長く利用してもらえるのではないか。来店客に配るだけでなく医療機関に置いてもらえば待ち時間などに見てくれるだろう。最近始めた商店街のスタンブPRを兼ねれば相乗効果も期待できる」と、いくつもの効果を狙ったものだった。

反響について中西さんは、「住民や加盟店からわかりやすいと好評。珍しいとテレビや新聞で何度も取り上げられた。そのせいか、区の医師会から心臓蘇生器具提供の申し入れが商店街にあった」、「売出しのチラシなどは読まない若い人でも、万一のことを考えてか、医療マップはちょっと説明して渡すと、お礼を言っておいていく人が多い」と評価する。

県の助成で豪華版作成

制作にあたっては、コンサルタントの助言も得たが、データ集めや各医療機関等との交渉などの実務は、中西さんら事業委員会（塩田一善委員長）のメンバー5人と事務長の田中さんが中心となった。

経費は約300万円。厚手の高級紙で片面多色、片面2色、2万部の印刷費のほかコンサルタント料、発行記念のイベント経費なども含まれる。かなり経費をかけたが、これは3分の2を

助成する神奈川県商店街競争力強化事業の指定を受けて出来たこと。

中西さんは、「最初に豪華なものをつくってしまつと次が大変になる。同じ事業に補助金は期待できないだろうし。ただ、今回つくった地図のデジタル

事例2

学生の参画と区の支援で作成 区内全商店街を網羅したお買物マップ

瀬谷区商連

瀬谷区商連が一昨年の12月に区内全商店街を紹介する地図を2万部作成、加盟店のほか公的施設などにおいた。

特徴の第1は、区内13商店街の場所を1枚のマップで示していること。大きさは縦約82センチ、横約30センチの4つ折り（両面印刷）。表面はマップで、ブロックごとに各商店街の範囲と掲載店の番号。裏面は掲載店143店の商店街・店名・営業日と時間、クーポンサービスの内容を掲載。掲載は無料で、全店に案内したが参加しなかった店も多少あった。

第2は、岩崎学園横浜

データがあり、次回の原稿はちょっとした手直しぐらいで済むはず。印刷も色や紙などを工夫すればもっと安くできる。高かったコンサルタント料も必要は不要。医療機関などから広告も見込める。次回も何とかなるでしょう」。

商店街ごとに各店の番号を掲載、付加価値づくりにクーポンも印刷（ほかに全体一覧図も。各店のデータは裏面に）



デジタルアーツ専門学校の学生約10名が、先生の指導や各商店会役員らの協力を得ながら授業の一環として取材、制作したこと。

第3は、取材したデータをHPにも掲載したこと（HPではスペースがあることからより詳しく紹介）。紙の地図ではスペースの関係で個店の位置は番号のみ。HPでは地図に店名も入れている。

第4は、8つのお寺（八福神「七福神プラス達磨大師」）や病院、公園、主な道路、駅を掲載、利便性と若干の楽しさを付加していること。

第5は、地図に付加価値をつけるため全掲載店で使えるクーポンを5枚つけたこと（回収は約4500枚）。

第6は、制作費約100万円（殆ど印刷費）を区が地域振興の一環として負担したこと。

全体の統括をした渡邊薫氏（三ツ境商店街）は、「好評だった。商店の名前や場所だけでなく、八福神を入れたり、クーポンをつけたことも良かった」と評価しつつも、「ただ、区内商店街の一覧地図は毎年更新するほどニーズがあるかは疑問。マップ作成のための基本的なデータはパソコンソフトに保存しているの、今後は、各会が必要に応じてつくればいいのでは」と語っている。

様々な活用法・切り口 個店のPR、商店会加入促進等々 商店街の見直しや人材発掘に

商店会で作成したタウンマップのデータは、会員に提供し個店のDMやチラシ作成に使えるようにすることで会員へのサービスとなり、商店街のPRにもつながる。

また、そのデータはホームページの地図作成の際にも利用できる。HPでは修正・変更が簡単

にできるので、新規加盟や移転・廃業などのデータを変更の都度入力しておけば、紙の地図を新たにつくる時に便利で、データの相互利用が可能だ。

新規参入店や未加入店を商店会に勧誘する場合、「地図への掲載」が一つのセールスポイントとなる場合もある。

タウンマップ作成にあたり、商店街の中、そして周辺を改めてチェックすることで、これまで気づかなかつたことが発

見でき、それを今後のまちづくりに反映させることも可能だ。

安全、緑、グルメ、健康……さまざまな切り口が地図にはある。切り口によつては、地域の多様なグループ、個人とのつながりが生まれることもある。

業種や階数の表示

よりわかりやすいビジュアルなマップにするためには、業種をどう表現するかにもひと工夫が欲しいところ。

保土ヶ谷区・天王町商店街協組では、マークで表している。また、2階で営業する店については「2F」の表示も入れている。



マークで業種を表現
（天王町商店街協組のHPより）

横浜市商店街総連合会会員のための年金共済

加入時期 平成18年9月～10月25日まで
（19年1月1日始期分）

右表の金額は、神奈川財団年金共済制度規程にもとづく給付であり、積立金に付利する予定利率は1.25%（配当金は含まず）として計算した額ですが、今後、変動（増減）することがあります。したがって将来のお支払い額をお約束するものではありません。

10年確定年金給付額等試算表 ・2口 月1万円の場合

加入期間	掛金累計	脱退一時金	基本年金月額
5年	600,000円	約599,560円	約(5,260)円
10年	1,200,000	1,233,560	10,810
15年	1,800,000	1,904,200	16,680
20年	2,400,000	2,613,660	22,900
25年	3,000,000	3,364,300	29,470

お問い合わせは... 神奈川県中小企業振興財団 事務局・Tel 045-312-5186

新三役を選出

市商連では、5月25日の決算総会で役員を選出、以下の方々が生役に選ばれました。(敬称略)

会長 岡野誠一
副会長 吉野栄輔(新任)
相原和世(新任)
平本 勉(新任)
石川清貴(新任)
専務理事 石田史郎

今年度の各区商連会長(敬称略)

鶴見区・岡野誠一
神奈川区・石川清貴
西区・大村富蔵
中区・加藤昇一(新任)
南区・末柄秀徳
港南区・平本 勉
保土ヶ谷区・村上弘一(新任)
旭区・関水英敬
磯子区・黒川順吉
金沢区・小林 誠
港北区・吉原昭彦
緑区・齊藤佐吉男(新任)
青葉区・相原和世
都筑区・吉野栄輔
戸塚区・山内 悟
栄区・白井喜代士
泉区・金刺昇一
瀬谷区・石垣徳知

市商連委員会再編成

市商連では今年度より、部会・委員会について見直し、再編成しました。従来は、(1)総務・財政部会、(2)企画部会、(3)事業検討部会、(4)機関紙編集委員会の4つで構成されていましたが、活動状況などについて見直し、次のように再編成しました。

(1)部会・委員会を整理統合し、名称を委員会に統一する。(2)委員会のメンバーについては、区商連会長に限らず、各区から有志を公募し参画してもらうことで、新しい感覚を取り入れる。

再編後の委員会

- (1)経営改善検討委員会 委員長 相原和世 従来の総務・財政部会の機能を担う
 - (2)企画委員会 委員長 吉野栄輔 従来の事業検討部会の機能を担う
 - (3)機関紙編集委員会 委員長 平本勉 (従来通り)
- *各委員会とも委員の任期は2年間。

市商連が(株)ライフと提携
「横浜開港 150周年」を記念
した市商連カード発行へ
(VISA Master)

市商連では、クレジットカード会社の(株)ライフと提携、商店街振興にあわせ、横浜開港150周年を地元商店街から盛り上げるために、お客様に喜んでいただけるデザインのクレジットカード、「横浜市商連カード」(仮称)を発行します。

提携カードの特徴は、

- (1)各商店街が独自の条件で設定できるポイント機能付き
- (2)会員獲得ごとに特典あり
- (3)提携カードでの決済に際しては、「特別加盟店手数料」による優遇レートを設定 など

- * 商店街の各種イベントなどで、(株)ライフの社員がカード入会募集活動を応援させていただきます。
- * 各商店街・商店へのカード加盟店募集活動を実施させていただきます。

お問い合わせは市商連事務局まで

研修

参加申し込みは市商連事務局へ

秋期定例講座

講演「育成功 高校野球と我が人生」
講師・渡辺元智氏
(私立横浜高等学校教諭・野球部監督)
日時 9月11日(月)午後4時~5時
(終了後懇親会、午後7時まで)
場所 ホテル横浜ガーデン(JR関内駅より徒歩5分)
会費 1人6千円(定員70名)

他都市先進商店街視察

視察先 栃木県宇都宮市のオリオン通り商店街振組(年間通じてナイトバザール実施)、オリオン通り曲師町商業協組(アーケード・多目的広場等の整備)、ユニオン通り商店街振組(宇都宮の原宿と呼ばれる若者向け業種の進出)
* 宿泊は日光湯元温泉「奥日光森のホテル」
日時 10月17日(火)~18日(水)
参加費 1人3万円(定員40名)

市商連共通商品券取り扱い店の皆様へ

9月末で市商連からの発行
(販売)は停止します!
(単会在庫分の販売は継続できます)
回収・換金は従来通り

共通商品券情報

06年4月~6月の実績 (カッコ内前年比)

発行額(万円)	回収額(万円)	回収率
616(248%)	378(98%)	61%

(数字は万円)

4~6月の発行額合計ベスト3

- (1)鶴見区・尻手銀座親交会 380
- (2)神奈川区・大口通り商店街協組 50
- (3)旭区・鶴ヶ峰本町通り商店街 50

商店街実態調査について

横浜市では、3年毎に空き店舗や経営者高齢化の状況、商店街の取組などを把握する調査を行い、商店街施策の基礎資料としています。

18年度についても8月から調査を行っています。すでに回答をお寄せいただいた商店街につきましては、お忙しい中ご協力いただきましてありがとうございます。

また、未回答の商店街につきましても、調査回答の提出をどうぞよろしくお願いいたします。

現在、集計作業を実施していますが、結果がまとまり次第ご報告させていただきます。

*なお、回答内容につきまして、お問い合わせをさせていただく場合がありますので、その際にはご協力をお願いします。

10月1日、事業所・企業統計調査が総務省により実施されます。

全国すべての事業所が対象になります。

9月下旬から調査員が各事業所に伺いますので、ご協力をお願いします。

お問い合わせ先

横浜市行政運営調整局総務部総務課統計係

電話 045-671-2104 ~ 2106

HP 『横浜市統計ポータルサイト』

<http://www.city.yokohama.jp/me/stat/>

防災トピックス・5

迅速な事業再開に向けて

最近頻繁に起きる地震、こうした災害に対する心構えなど、防災関連のトピックスを連載します「産業防災連絡会議」

重要な電子データ類のバックアップを作成し、安全な場所へ保管しておきましょう。万が一の災害の際、データが消失した場合には再入力に膨大な時間がかかります。データ消失により資金繰りに窮する可能性もあります。

データセンターサービスを提供する業者にバックアップ用サーバーを預けるなど体制を整えておくことが重要です。

阪神淡路大震災時でも、給与の概算払いや取引先とのトラブルの元になりました。10年前と比べて格段とIT化が進み、業務のIT依存度は高くなっています。システムのメンテナンスの際は、非常時の対応をお聞きください。

第12回ヨコハマ・グッズ「横濱001」の募集

新規開発した横浜のオリジナル商品または応募時に販売されていて、評価が高く定着している商品を募集します。
* 出品物は、現品あるいは試作品に限ります。アイデアのみの応募は受け付けません。

ヨコハマ・グッズ認定審査会において、流行に左右されない息の長い定番商品となり市民生活の中で普遍的な利用価値があり、ギフトにもなり土産ともなる良質商品を「ヨコハマ・グッズ商品」として認定。

認定期間は平成19年4月1日～平成21年3月31日。

受付期間 平成18年11月6日～11月10日

提出書類 応募申請書、会社概要

提出方法 持参、郵送又は電子メール

問い合わせ及び提出先窓口

(財)横浜観光コンベンション・ビューロー

事業部「横濱001」担当

TEL045-211-1202 FAX045-641-7485

Email boshu@yokohama001goods.org

<http://www.yokohama001goods.org>

大型小売店舗の計画と届出書類を市役所で見るができます

横浜市内：問合せ先・縦覧場所・意見書提出先
【横浜市経済観光局産業立地調整課】Tel.045-671-2598
URL <http://www.city.yokohama.jp/me/keizai/jourei/ritthou.html>
届け出の内容

・新設(新設のみ)店舗所在区の各区役所区政推進課でも見るができます)				縦覧期間・意見書提出期限
大規模小売店舗の名称(所在区)	主な小売業者	開店日	店舗面積	
(仮称)港北ニュータウン中央地区共同商業地区開発計画(都筑区)	(株)アルペン、(株)トップカルチャー、(株)ダイエー他	19.7.1	13,053平米	18.11.6
オーケー長津田店(緑区)	オーケー(株)	18.1.29	1,313平米	18.8.25
ゴルフ5金沢文庫店(金沢区)	(株)アルペン	18.11.17	1,120平米	18.8.7
・大規模小売店舗の施設の配置及び運営に関する変更				縦覧期間・意見書提出期限
大規模小売店舗の名称(所在区)	主な小売業者	主な変更点		
東神奈川サティ(神奈川区)	(株)マイカル他	開店時刻の変更		18.11.6
中山ビル(緑区)	フジバンストア(株)他	荷さばき施設他の位置変更		18.10.23
横浜新都市ビル(西区)	横浜新都市センター(株)他	開店時刻ほかの変更		18.10.23
洋光台サイキヤビル(磯子区)	渡辺邦夫ほか	開・閉店時刻ほかの変更		18.9.15
リストガーデンスクエア(港南区)	リスト(株)	駐車場の位置&収容台数の変更		18.9.4
たまプラザ東急ショッピングセンター(青葉区)	東京急行電鉄(株)	駐車場の位置&収容台数ほかの変更		18.9.4
生活協同組合コープかながわ白根店(旭区)	生活協同組合コープかながわ	閉店時刻ほかの変更		18.8.14
オーラシティ(戸塚区)	ニューリアルプロパティ(株)	閉店時刻の変更		18.8.7

FROM 市商連

緑の協会に寄付

横浜開港記念バザー実行委員会(会長・岡野誠一市商連会長)は、今年6月に開催された第75回横浜開港記念バザーの出店者から、「市内の緑化」を目的として集められた寄付金約55万円を財)横浜市緑の協会に贈呈した。

岡野誠一市商連会長(左)と宇野公博緑の協会理事長(市商連会議室で)



商店街概要

京浜急行日ノ出町駅から徒歩約100メートル圏内の商店街。野毛や伊勢佐木町に隣接、MM21にも徒歩20分程度、横浜駅まで2駅。交通の便はいいが商業環境は厳しい。

中区 日ノ出町駅前商店会

役員のハートに火がついた
「神武景気以来の暗闇」脱出へ！

「商店街は神武景気以来の暗闇にまぎれこんでいる。役員がここ数年、何とかしたいという意思を出しあっても、実行には移せなかった。ところが、ここへきてみんなのハートに火がついてきた」と語るのは、中区・日ノ出町駅前商店会の伊藤哲夫会長。イベントや街並み整備のプランづくりに積極的に参画する人が増えてきたのだ。火をつけた要因のうち3つを紹介しよう。

ハートに火・その1
大岡川桜祭り

今春、開かれた第14回大岡川桜祭り。沿岸各地域で催されるイベ



商店街そばを流れる大岡川。桜祭りの時は様々なイベントが繰り広げられる(同商店会HPより)

ハートに火・その2
街並み整備

隣接の野毛や宮川町の商店街と共同で横浜市のライプタウン整備



日ノ出町交差点付近(左側が再開発予定地)

ントで、長者橋から南約200メートルが日ノ出町内会と日ノ出町駅前商店会の担当エリア。各種の屋台やフェイス・ペインティングなどで人気を集めた。庄巻だったのは東京・神楽坂の「だむだん連」とそれに続いた日ノ出町の「にわか連」による阿波踊り。長者橋を起点に日ノ出町内を一周したが、一緒に踊り出す通行人も出る盛り上がり。初の阿波踊りは、町内の一体感を強めた。

ハートに火・その3
アートランド

ロコサトシさんが今年3月、同商店街内の空き店舗に絵画や音楽、子育てなどの教室「アートランド」を横浜市の空き店舗活用事業により開設した。ロコさんは東横線旧桜木町駅ガード下の壁画などで知られる異色のアーティストで、「子供や大人がアートの体験学習を通じて自ら気持ち解放する場所」を探していた。

事業の指定を受け、街並み整備に取り組んでいる。日ノ出町地区では特殊舗装や街路灯など照明設備の充実、オルガン広場の設置(日ノ出町はヤマハ楽器の前身、西川オルガンの工場発祥地)などを検討中。また、商店街の一角では再開発ビルの構想が進んでいる。

開設後はすぐに、同商店会に加入。様々な分野のアーティストを招いてのイベント、ホームページの開設やタウン誌の発行など、アートランドは同商店会が実施するコミュニティ貢献ソフト事業の有力な担い手、日ノ出町活性化の拠点となつつある。



7月末、アートランドで開かれた風船を使ったぼんぼりづくりのワークショップ。地元の東小学校子供会から約25人が参加(右写真・立って説明する男性がロコさん)

同商店会は、町内会と共同でぼんぼり40個をつくり、8月20日の夏まつりに子供たちの作品と一緒に会場に飾るが、これらの活動にもアートランドが協力している。

本紙へのアンケートをお願いします
市商連HPの「よこはま市商連」へアクセスし、最新号を見ていただくとアンケート欄に行くように設定してあります。